



歯科検診

顎関節症は近年急に増加の傾向にあります。
10代半ば～20～30代（特に多い）、高齢者まで。
女性に多いといわれます。



あごの関節（顎関節）周辺になんらかの異常がある慢性的な症状をもつ疾患です。

- 「あごが痛い」
- 「口が痛くて開けづらい」
- 「あごが鳴る」
- 「急にかみ合わせが変わった」



「硬いものを食べたらかあごが痛い」
～めまいや痛みが全身に～食事をすることが困難～重症になると手術といった症状があります。
近年若い患者数が増加しているのは生活習慣や食習慣などが影響しているかもしれないと言われています。（20歳代の女性に多い）



■顎関節症の主な原因

- ① ぎしり
- ② み合わせ（かぶせた金属など）
- ③ ストレス
- ④ 姿勢の悪さ（猫背）
- ⑤ 物を食べる時、片方だけで噛む
- ⑥ 長時間又は頻度の頬杖
- ⑦ 電話の受話器を肩とあごではさんでいる。
- ⑧ 歯の不正咬合など。



こんな症状があったら・・・

痛みの余りない時は、そのまま様子を見ていて治る事もあります。
痛みの症状がある方も、1年足らずで症状が軽減する方も多くいます。
一週間以上たっても痛みが軽くならず、強くなってきた時は**歯科を受診**して下さい。



<顎関節症の治療>

- ① 物療法
鎮痛剤、消炎剤、筋弛剤などの投与
- ② プリント療法
かみ合わせを調整する顎関節用マウスピースの装着
- ③ あわない歯のかぶせものを取り替える
抜歯後の歯の治療を怠らない。（ブリッジや義歯をいれる）
- ④ ステロイド剤の注入
関節内に直接ステロイドを注射します。
- ⑤ 外科的手術
関節円板の手術
- ⑥ 超音波、低周波マッサージ 等

